JA常陸の現況

JA常陸　平成26年度半期開示ディスクロージャー誌

Hitachi Agricultural Cooperative

平成２６年８月１日、ＪＡひたちなか・茨城中央・茨城みどり・茨城みずほ・茨城ひたちの５つのＪＡが合併し、『ＪＡ常陸』が誕生しました。

JA常陸の経営理念

農を通じて、真の豊かさ、真の生きがいを地域の人々とともに創出します。

JA常陸の使命（ミッション）

「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神に基づき、
相互に助け合い、支え合いながら地域社会の発展に貢献します。

多様な農業を守り、消費者に安全･安心な農畜産物･加工品を
安定的に供給します。

地域住民･組合員の一歩前を歩き、
豊かさと夢のある暮らしを提案します。

JA常陸の行動指針 ～3つのC～

Compliance［法令遵守］
一人ひとりがJA役職員としての自覚を持ち、
コンプライアンスの徹底に努めます。

Communication［コミュニケーション］
対話と傾聴によって、組合員・利用者の声に
真摯に耳を傾け、誠実に行動します。

Challenge［挑戦］
挑戦することを重んじ、
絶えず新しい価値の創造を目指します。

平成２６年度　ＪＡ常陸　半期開示項目

平成２６年７月３１日現在

１　金融再生法開示債権(単体)

(単位：百万円)

債権区分	平成 26 年７月末	平成 26 年１月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	575	633	▲５８
危険債権	682	730	▲４８
要管理債権	73	124	▲５１
正常債権	64,157	65,895	▲1,738
合計	65,489	67,384	▲1,895

注：（１）平成 26 年７月末及び１月末の表示金額は、旧５ＪＡ（ＪＡひたちなか・ＪＡ茨城中央・ＪＡ茨城みどり・ＪＡ茨城みずほ・ＪＡ茨城ひたち）の合計額です。

（２）単位未満は切り捨てにより表示しておりますので、合計額が一致いたしません。

２　単体自己資本比率（新ＢＩＳ基準適用）

平成 26 年１月末
１２．１０％

注：平成 26 年１月末は、旧５ＪＡ合計の自己資本とリスクを対比して、自己資本比率を計算しています。

平成 26 年７月末は、旧５ＪＡすべてのリスクについて精緻な数値でないため、計算していません。

３　主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成 26 年７月末	平成 26 年１月末	平成 25 年７月末
貯金	297,036	299,290	296,538
貸出金	65,323	67,213	69,089
預け金	222,730	220,828	218,238
有価証券	6,477	6,856	8,003

注：（１）平成 26 年７月末、１月末及び平成 25 年７月末の表示金額は、旧５ＪＡ（ＪＡひたちなか・ＪＡ茨城中央・ＪＡ茨城みどり・ＪＡ茨城みずほ・ＪＡ茨城ひたち）の合計額です。

（２）単位未満は切り捨てにより表示しております。

４　有価証券等時価情報

【有価証券】　（単位：百万円）

種類	平成 26 年７月末			平成 26 年１月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	―	―	―	―	―	―
満期保有目的	2,723	2,754	31	2,920	2,952	32
その他	3,614	3,755	141	3,819	3,934	115
合　　計	6,337	6,509	172	6,739	6,886	147

注：（１）平成 26 年７月末及び１月末の表示金額は、旧５ＪＡ（ＪＡひたちなか・ＪＡ茨城中央・ＪＡ茨城みどり・ＪＡ茨城みずほ・ＪＡ茨城ひたち）の合計額です。

（２）７月末の有価証券の時価は７月末日における市場価格等に基づく時価としています。

（３）単位未満は切り捨てにより表示しております。

５　地域貢献活動

①地域貢献の全般に関する事項

当組合は、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東茨城郡城里町、那珂郡東海村、久慈郡大子町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、ＪＡの総合事業をつうじて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

②地域からの資金調達の状況

当ＪＡでは、目的・期間・金額に合わせた各種特典付の定期積金や、特典付定期貯金の募集を展開しています。特に、合併記念として、懸賞品（管内特産品）付定期貯金キャンペーン（１０月～１２月）を実施します。

さらに、年金の受給者で組織する「年金友の会」は、クロッケー大会やゲートボール大会および会員相互の親交を深める旅行等の行事を実施しています。

③地域への資金供給の状況

地域農業への設備投資資金や運転資金等に活用できる、農業資金・農業経

営拡大資金・認定農業者育成特別資金等の農業関連資金や、生活一般の用途に対応できる、住宅ローン・マイカーローン・教育ローン・カードローン等の生活関連資金を地域のみなさまにご活用いただいています。特に下期については、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンはＪＡ常陸オリジナル商品として、「金利引き下げプラン」を実施しております。

また、インターネットに慣れ親しんでいる若年層や日中の来店が困難なサラリーマン層のニーズが存在していることを踏まえ 10 月１日よりネットローンの取扱いを開始します。

農業関連資金

〇新認定農業者育成資金（経営維持安定・生産拡大のための資金）
〇農業経営拡大資金（農業施設・機械・生産資材購入等のための資金）
〇農業近代化資金（生産性の高い農業経営の実現のための資金）
〇就農施設等資金（就農者による経営準備のための資金）

生活関連資金

〇住宅ローン（住宅の新築・増改築、住宅新築に伴う土地取得のための資金）
〇マイカーローン（自動車・バイク購入（中古を含む）、修理・点検等のための資金）
〇教育ローン（高校・大学進学資金等の教育に関する資金）
〇生活資金（生活のために必要な資金）
〇地方公共団体等資金（地域発展と社会福祉の増進に資するための資金）
〇アパート・マンション資金（賃貸住宅の新築・増改築のための資金）

④文化的・社会的貢献に関する事項

地域組合員の農業振興をはかるため、ＪＡの組織力を集結するとともに、地域団体、組織、組合員と協力し、組合員の安定した農業経営を確立していきます。また健康・うるおい・生きがいのため、地域住民との交流を深めて組合員の「健康でうるおいのある生活」を築きます。そうした実践として、ふれあいDay（訪問活動）を実施し、地域への社会的貢献を実施いたします。

利用者ネットワーク化として年金友の会を通じたゲートボール大会・グラウンドゴルフ大会の開催を行い地域の活性化をおこなっています。

情報提供活動としてはＪＡ広報誌の定期発行（毎月１回）を行い、新たな情報誌を作成してまいります。インターネットを使用したホームページを活用することにより、最新の組合員等利用者への情報提供を行います。

以　上